



「かがくいひろしの世界展」大盛況に感謝し終了

9月から始まった「かがくいひろしの世界展」が、県内外からの2万人を超える来場者数を記録して、12月に終了しました。来館した先生方は、かがくい氏の「相手の反応を引き出すものは何か」を追求する姿勢などに、心を動かされたのではないのでしょうか。また、特別支援学級の先生方には、絵の出品に際してたくさんのご協力をいただきました。ありがとうございました。



©Hi roshi Kagakui

テーマ展「北松斎と南部政直 —その足跡をたどる—」開催！

1月20日（土）からは上記テーマ展が開催されます。このテーマ展では、二人の生涯を、博物館に収蔵されている資料や市内の寺院に残されている品々から紹介しています。以下に、花巻城の整備と花巻の町づくりに多大な貢献をした二人の足跡をたどる展示の内容をご紹介します。



まず、**北信愛(後の松斎)**の展示では、江戸時代の初めにあたる慶長3年から慶長18年までの16年間の花巻城代としての活動について解説しています。

松斎はまた、花巻まつりの発祥にも関わっていて、その発祥についても展示で説明しています。

そして松斎の後を受け継いだ**南部政直**（盛岡藩2代目藩主南部利直の次男）の展示では、花巻城主をつとめた慶長18

年から寛永元年までの12年間の活動について解説しています。

政直は「本丸御殿の整備」「城下の町割り」「寺社の整備」「北松斎が手がけていた御堀と土塁の工事の完成」を行ったとされていて、その内容を解説しています。

また、政直は寛永元年12月に25歳の若さで亡くなりますが、実は政直の死については、病死説と毒殺説とがあり、「ミステリー」ともいえます。展示では政直が毒によって死亡したとする説も紹介していますし、その時に使われたとされる酒器も展示しています。ぜひ、博物館に足を運んでいただいて、このミステリーを皆さんにも考察していただきたいと思います。

【裏面に続く】

3学期の出前授業の予定（1月18日現在）

3年「昔の道具と暮らし」などの3学期の出前授業の予定が、かなり混んできました。もしこれから出前を予定されている場合は、下の表を確認の上、（午後になる可能性は大きいですが）早めに申し込みをお願いします。

日	月	火	水	木	金	土
1/21	22	23	24	25	26 (AM) 大迫小3年	27
28	29 (AM) 太田小3年	30 (AM) 湯口小3年	31 (AM) 湯口小6年	2/1 (1日) 若葉小3年	2	3
4	5 (AM) 笹一小3年	6 (AM) 八幡小3年	7 (AM) 東和小3年	8 (AM) 新堀小3年	9 (AM) 桜台小3年	10
11	12 振替休日	13 予定あり	14 予定あり	15	16 予定あり	17
18	19 博学連携委員会	20 (AM) 八重畑小3年	21 予定あり	22	23 天皇誕生日	24

館長講話 の紹介

冬休み中の12月27日の午後、花南わんぱく学童クラブ4～6年児童15名と所員が来館し「ふれあい出前講座（館長講話と勾玉作り）」が行われました。

学童なので直接学校とは関わらないのですが、館長講話が「南城地区の縄文文化」という内容だったので、先生方の参考になるのではないかと思います。講話の内容をごく簡単に紹介させていただきますと、次の4点になります。

- ①地球全史と地形の成り立ち、古代の大型の動物
- ②旧石器時代の宿内遺跡と南城地区の遺跡等
- ③石器や土器などの形状・意匠の工夫・形の理由
- ④縄文人と弥生人（在地系と渡来系）の顔の特徴



中村館長の講話「南城地区の縄文文化」

また、館長講話に関してもう一つ紹介すると、5月に行われた大迫小学校3年の出前授業「大迫の神楽の歴史」で館長が講話を行いました。子ども達の感想からは●狢犬が『あ』と『うん』に分かれている●お面も『あ』と『うん』に分かれている●ニワトリは昔神様だった●神楽は悪魔を追い払う●悪魔は大きな音やキラキラした物が嫌い、などの多くのことを初めて知ることができた喜びと、神楽と前向きに取り組んでいこうという意思が芽生えたことが伺えました。

当館の中村館長は、大迫を中心とした芸能や文化をはじめ、各地区の遺跡等に精通しています。今後、学校のPTA行事や学年行事で「ふれあい出前講座」の館長講話を活用することも、選択肢の一つとして考えてみてはいかがでしょうか。